

2021 年 4 月 28 日

立命館大学体育会クラブの皆さんへ

立命館大学

学生部長 中西 純司

新型コロナ感染症に対する感染対策においては、日頃から、練習や試合、また日常生活での様々な制限や拘束を自らに課して実行し続けているかと思います。また、最初に考えていたよりもコロナの影響が長期間にわたり、モチベーションを維持することやコロナ対策に取り組み続けることに対して、不安や困難を抱えている人も多いかと思います。

大学としては、皆さんの自主的な取り組み、また日頃からの感染対策の遵守を信頼し、今次の緊急事態宣言を受けても、5月16日まではBCPレベル「3」に対応した「通常練習・公式戦参加」について中止を勧告する予定はありません。皆さんがしっかりと感染対策に取り組むことで、クラブ活動内でのクラスター感染の発生を抑えるとともに、立命館大学の他学生の手本（学生ロールモデル）となることを大きく期待していますし、それができると信じています。

しかしながら、ここ最近、こうした期待や信用を裏切るような報告が増え、残念でなりません。たとえば、①多人数での飲み会の開催やそこへの参加、②いい加減な体調管理(ONE TAP SPORTS の未入力)、③練習前・中・後にかかわらずマスクを着けずに近距離で会話する、④換気のできていない屋内でのミーティング、⑤食事中にマスクを外して会話するなどです。

これらは、自分たちで定めた感染症対策ルールに違反するアンフェアな行動です。こうした行動は、「気の緩んだ」一部の学生のことと思う人もいるかもしれませんが、日頃から皆さんのクラブ活動を一緒に支えている学生部・スポーツ強化オフィスのクラブ担当者にとっても非常に残念な出来事です。現に、こうしたアンフェアな行動をしたことで、この間、クラブ内で感染者が発生し、自分たちの好きなスポーツ活動を停止・中断せざるを得ない判断となったクラブもあります。

もし今後、このようなことが複数のクラブで生じると、体育会クラブ自体が感染拡大を促進するような課外自主活動であると判断され、感染拡大を防止するために、「通常練習・公式戦参加」にもさらなる制限と拘束を加えていくことも必要になりかねません。

新型コロナ感染症に対する感染対策は、変異型のウィルスであっても従来と同じことです。ただし、変異型の方が従来よりも少量のウィルスで感染する可能性が高いため、急速な感染拡大を招いています。そのため、皆さんは、さらに丁寧な感染対策を行う必要があります。大学や各競技団体等が示したガイドラインを踏まえ、自分たちで定めた感染症対策ルールを遵守し続けることが何よりも重要で、それが「自分も感染しない、大切な人や仲間にも感染させない」という自己規律的な行動にもつながります。

皆さんが今まで積み上げてきた感染症対策ルールの徹底した実施と継続については、スポーツ強化オフィス一同が誇りに思っていますし、皆さんはそれが必ず実践できるはずです。先が見えない中で 1 年以上も、自分自身への心身的な制限や拘束を続けることはとても大変だとは思いますが、「継続は力なり」をモットーとする体育会学生の皆さんならば必ずできると信じています。

なお、今後の感染状況や本学園の法人危機対策本部会議の方針等によっては、上記方針を変更する可能性があります。また、5 月 17 日以降の方針については、あらためてお知らせします。

最後に、新型コロナウイルス禍のなかで、何か不安や不明なことがあれば、いつでもスポーツ強化オフィスまでご連絡ください。